

第四十八圖

洗禮とは天主教の入口でこれまである罪、即第一はアダムから傳つた源罪と第二は自分で犯した小罪大罪と第三は其自分で犯した罪の償まで残らず赦して人を天主の子にさせる秘蹟です第四十八圖はイエズ、が洗禮を受け給ふところ之は前に委しく書いてあるがイエズ、の如き罪の少しもないものが何うして洗禮をお領けなさつたといふに、其は御自分の爲ではない只吾人の手本となつて洗禮の必要を教える爲であります、洗禮の授け方は領ける人の額に水をかけながら吾聖父と聖子と聖靈の御名に因て汝を洗ふと唱へるので、人は洗禮を受けなくては逆も助ることが出来ないから



第 四 十 九 圖



堅 振

第 四 十 九 圖

危い病氣のときなどは信者でも又天主教を心に信ずる  
 外教人でも洗禮を授けることが出来来ます、洗禮は一生  
 涯に一度の外領けられません、

堅 振

洗禮を領けた人の信仰を堅める爲に聖靈とそのお恩を  
 下す秘跡です之を授けるものは司教です、第四十九圖  
 の上の方に書いてあるのは使徒のペトロとヨハネがサ  
 マリア町に洗禮のみを受けれた人が多くあると聞いて其  
 町に行き彼等の上へ手を按けたならば彼等は聖靈を受  
 けた、之が堅振の始めで使徒行傳八章の十四節より書  
 いてあります、圖中老人の方がペトロで若く見える方



がヨハネです、又圖の下の方に書いてあるは司教が聖堂で今の式を以て子供に堅振の秘跡を授けるところです、この秘跡も生涯一度の他受けられませぬ、

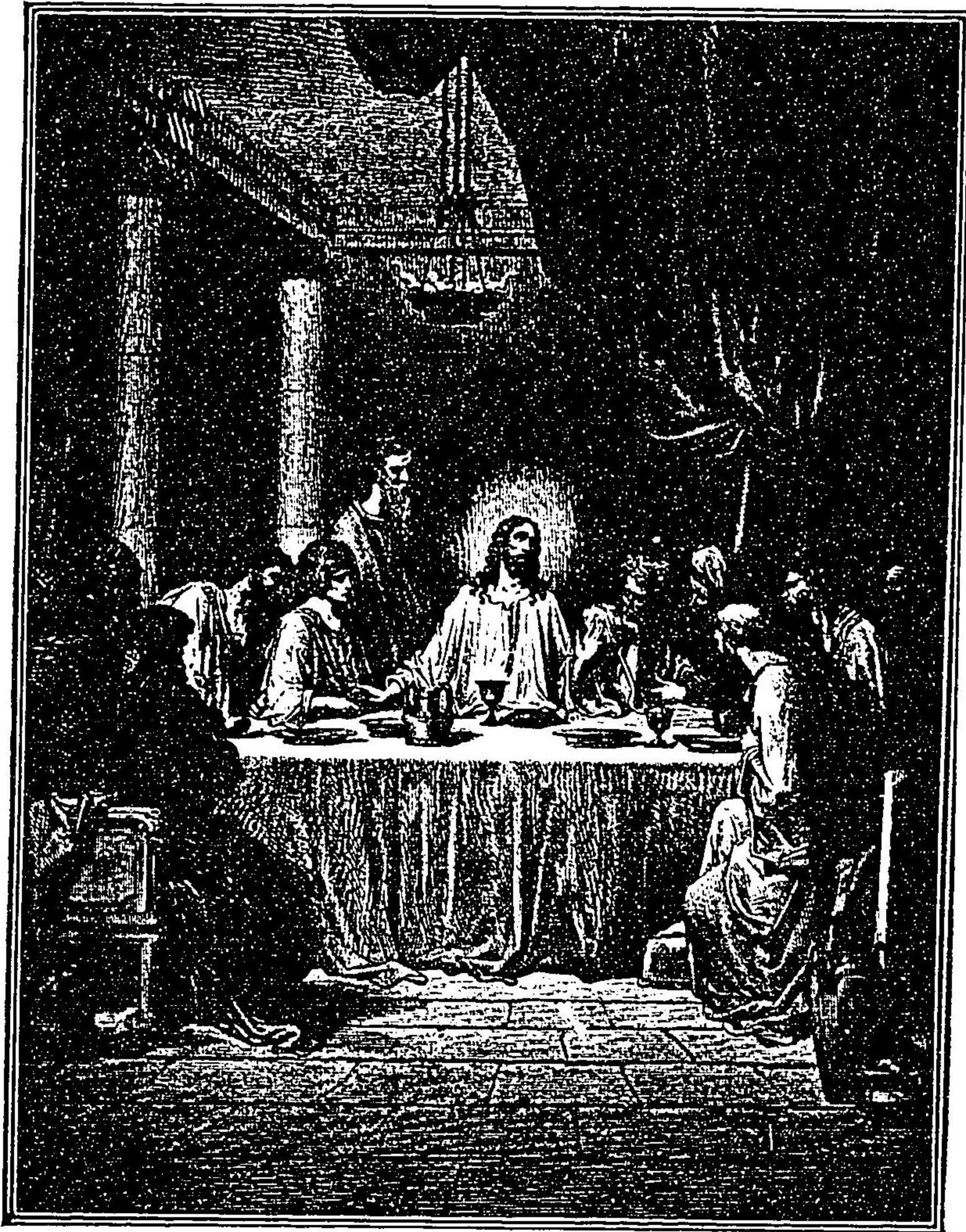
聖体

第五十圖

聖体は一番聖い秘跡で信者とイエズス、キリストと合  
体させるのです、第五十圖は此秘跡をお定めなさる所  
で、イエズス、キリストが御死去の前晩ゼルザレム町  
に十二人の徒徒等と晩餐をなさるときパンを取つて之  
を祝聖ひ使徒に與へて汝等受けて之を食べよ是汝等の  
爲に渡す(後に殺され給ふこと)我肉体であると仰せられ、  
其後爵を取つて矢張之を祝聖ひ使徒に與へて汝等受け



第五十圖



イエズス、聖體を定め給ふ

て之を飲めよ是我血であると仰せられ、又汝等吾紀念として之を行へと仰せられました、このイエズスの御金言に因てパンは變つて御肉體となり葡萄酒は變つて御血となるのです、依て聖體の秘蹟はパンと葡萄酒の形や色は其儘で其下にあるイエズス、キリストの御肉御血を領けることです、又汝等吾紀念として之を行へといふ御金言は御聖體を作る權を使徒と其後繼なる司教靈父に與へたのです、今司教靈父が御聖體を作ることはミサといふ聖い祭の時であります、

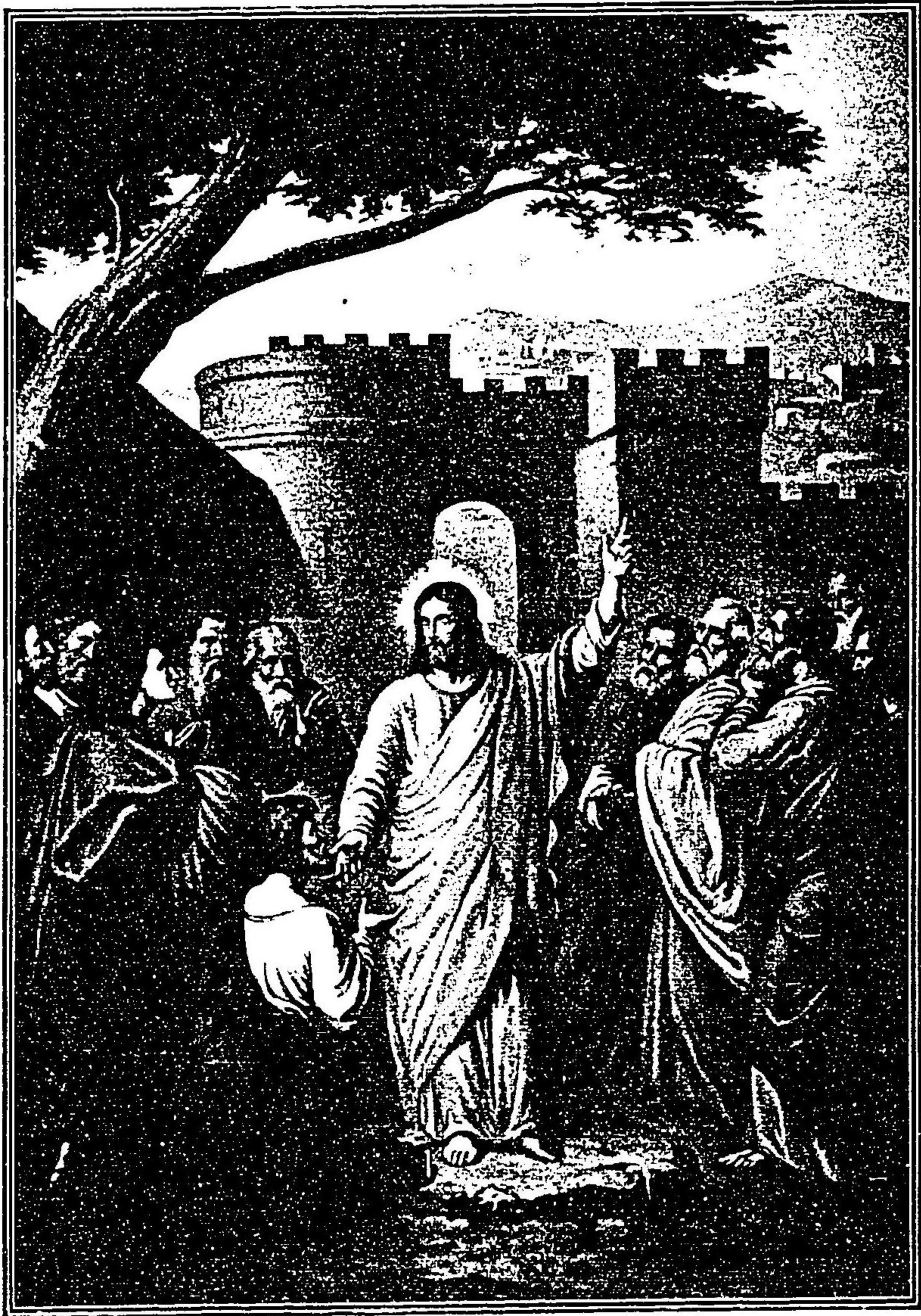
ミサの聖祭

ミサといふ聖い祭は御聖體を天主に献けることで、委



しくいへば今より凡千九百年前猶太國カルワリヨ山の  
頂上でイエズ、キリストは人間を助ける爲に十字架  
に釘つけられ給ふて御肉と御血をさし給ふたと同じ  
く矢張ミサの祭でパンと葡萄酒に形色の下にある御肉  
御血を天主に献げることです、依てカルワリヨ山の祭  
とミサの祭とは全く同じで、只捧げ方が差ふ、カルワ  
リヨ山では十字架にかけられ御血を流し酷い苦を以て  
お死になされたがミサの祭では血を流さず御苦も受け  
ずお死になさることもないといふことだけですが、  
聖會の第四の御掟に従つて毎年いくらか少くても一度は  
聖體を領けねばならぬが、別けても危い病氣のときは





悔 悛

第五十一圖

是非受けるが宜しい、又達者のときでも度々領ければ  
 領けるほど熱信になつて助り易いのです、

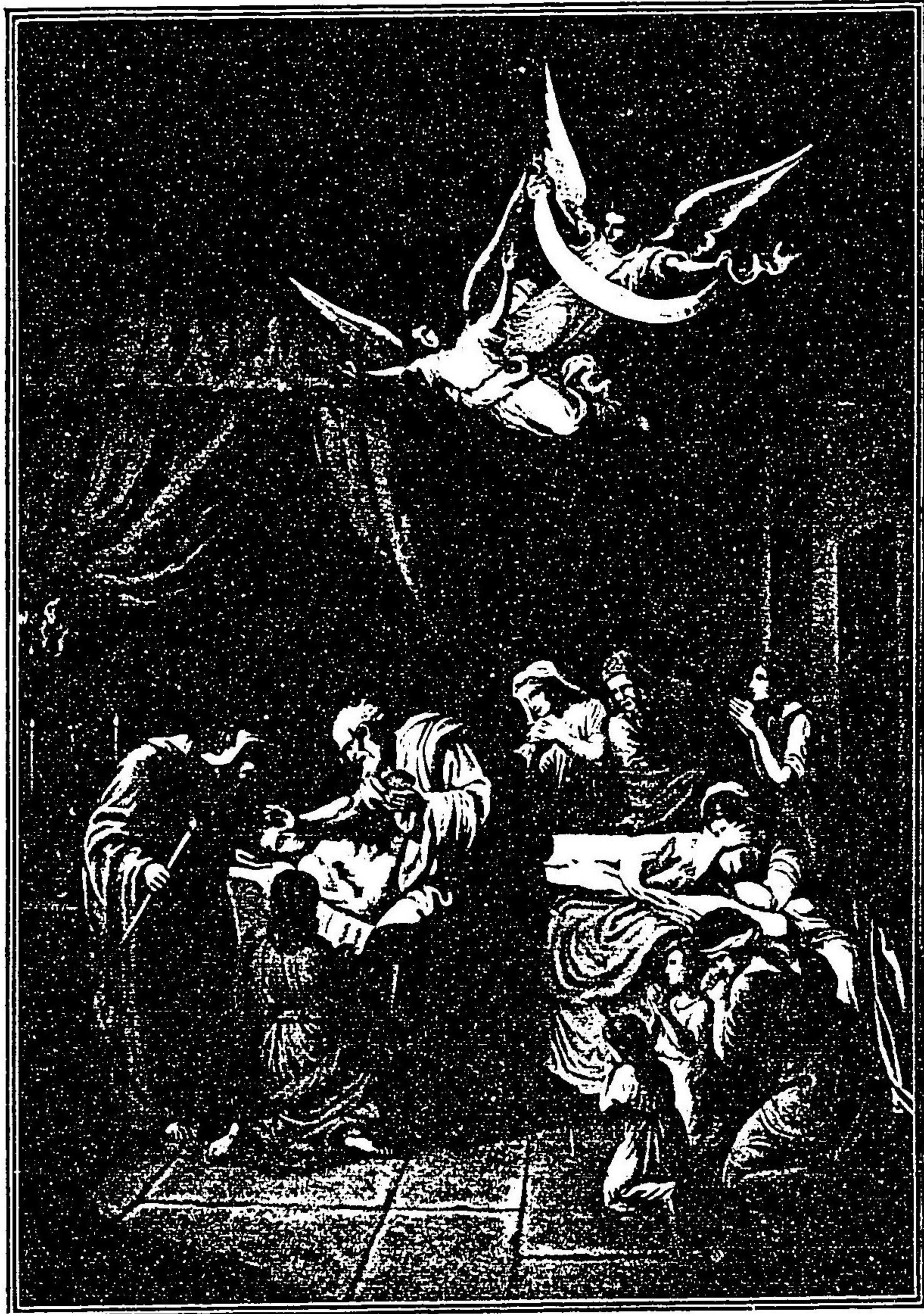
悔悛

人間は弱いもので洗禮を領けて後も度々罪を犯すから  
 之を宥す道がなかつたならば逆も助かることが出来ぬ、  
 それでイエズス、キリストは容易く赦される實に有難  
 い道をお立てなされた、之を悔悛の秘蹟といひます、  
 之はイエズス、キリストが御復活の後に第五十一圖に  
 ある如く使徒等に現はれて、聖靈を受けよ汝等誰の罪  
 を宥すとも其罪は宥され、又汝等誰の罪も宥さなくば  
 其罪は宥されずと、仰せられた、此御金言によつて使



徒と又其後繼のものが信者の罪を赦す權を與へられた  
のです、圖に鍵を與へなざる所の書いてあるは、罪を  
宥す權を與へるのは天國の門を開ける鍵を與へると同  
じ意味だからであります、  
悔悛の秘蹟は洗體を受けてから後の罪を宥す秘蹟です  
此有難秘蹟を受けるには先づ犯した罪をよく調べ  
て次に心の底から罪を犯したことを悔しく思ひ其罪を  
嫌つて眞實の後悔を起し靈父に向て有体に白狀し靈父  
の宥を受けて後償ひの爲に靈父の決めた罰即命けられ  
たことをせねばなりません、  
此秘蹟を度々受けなければ決して善人になれない又大





終油

第五十二圖

罪を犯した度或は病氣で死なふと思はれるときは、  
 時も早く受けなければなりません。

終油

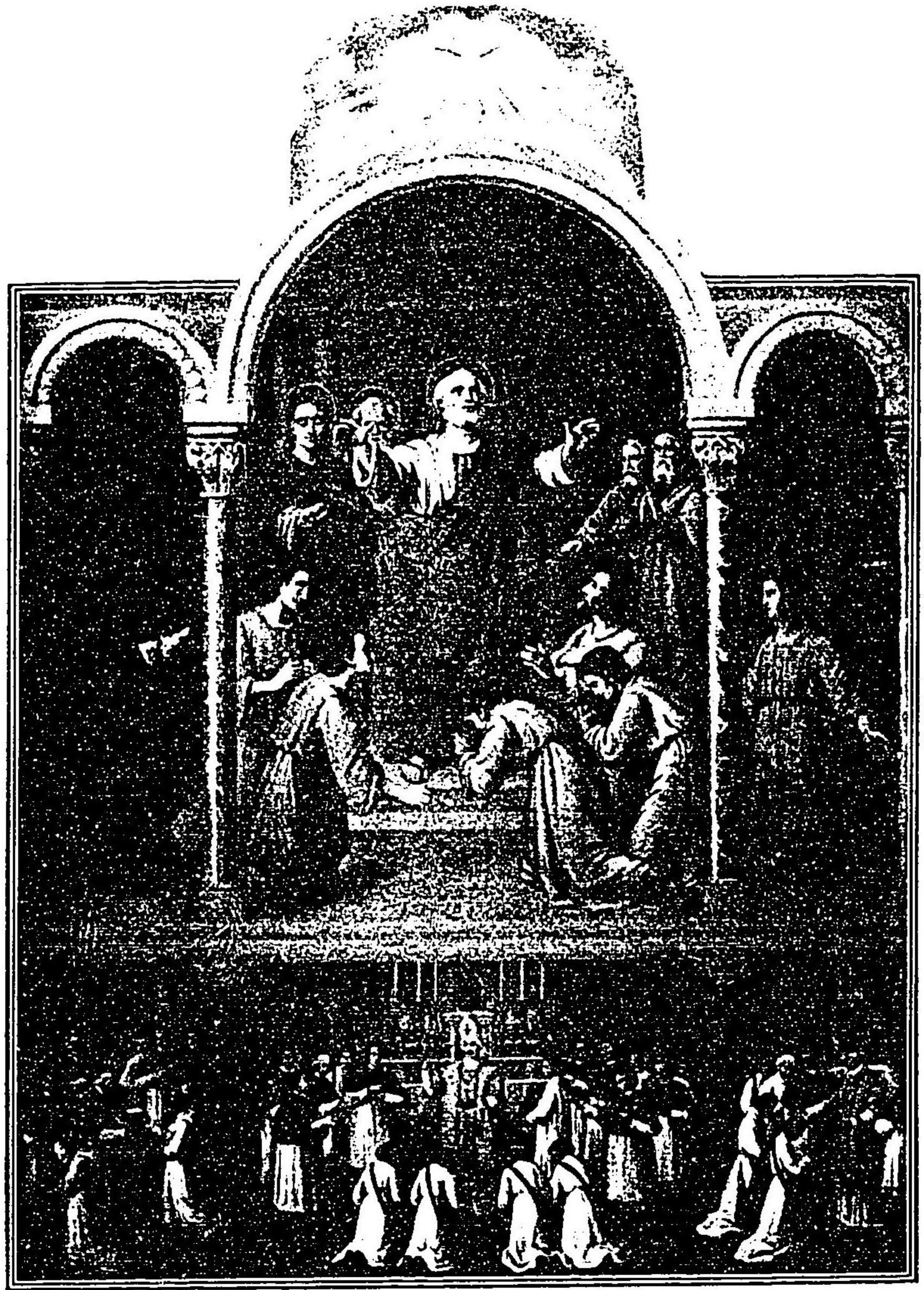
死ぬといふことは人間の爲には一番難儀なことで人は  
 死ぬや否私審判といふ恐怖裁判を受けねばならぬ、そ  
 れでイエズス、キリストは死にかゝつて居る信者を憐  
 みなさつて之を助ける爲に終油といふ極く有難秘蹟を  
 お立てなされました、この終油といふは聖油を病人の  
 五體に塗り靈魂と肉體を清める秘蹟です、其有難こと  
 を委しくいへば前の罪は赦されても未だ其跡が残る其  
 残つた跡を洗ひ病氣を堪へ易くし、死ぬこと、裁判さ



れることの懼れを減らし、魔鬼の誘を禦ぐなごです、  
又時として病氣の全快することが其人の靈魂に得があ  
るならば癒ることもある、信者は死にさうな時には是  
非受けねはなりません、第五十二圖は死にかゝつて居  
る信者に靈父が終油の秘跡を授ける所で、其周邊は親  
類友達などが悲むで居る、けれども圖の上にある通り  
最早天使が其熱心なる信者に立派の褒美を與へる爲に  
天からお下りなさる所です、なんと斯く罪に漬れぬ靈  
魂が天主の御前に出て安心に裁判を受けるのは有難い  
ことではありませぬか、



第五十三圖



品級

第五十三圖

品級

前まへにある通とほり危あやい病人びやうじんなどに洗せん禮らいの秘ひ跡せきを授まけること  
 は誰たれれでも出で來きるが他ほかの秘ひ跡せきは誰たれにでも授まけることは  
 出で來きないです、依よつて他ほかの秘ひ跡せきを授まける權けんのある位くらに舉あげ  
 ける爲ために品級ひんきゅうといふ秘ひ跡せきをお立たてなされました、此この位くら  
 のあるものは司し教けう靈れい父ふばかりで其その勤とほはミサの聖せい祭さいを行おこす  
 ひ、罪つみを赦ゆるし、秘ひ跡せきを授まげ、教けう會かいを宰つかさどること、短みづかく  
 いへは信しん者しやの靈れい魂こんを天てん國こくに導みちく勤とほです、若もしも司し教けう靈れい  
 父ふがなければ秘ひ跡せきを受うけられなから人ひとは助たすかること  
 が出で來きませぬ、ですから何なによりも有あ難がたい秘ひ跡せきでありま  
 す、品級ひんきゅうを授まけるものは司し教けうばかりです、又また生涯しやうがい一度いちど  
 に限かぎる秘ひ跡せきです、第五十三圖だいごさんじゅうさんずの上うへの方ほうは新しん約やく使し徒た行こう傳でん



第五十四圖

六章にある、ペトロと他の使徒が七人の弟子を撰び彼等に品級を授ける所です、下の方は司教がいろいろの式を以て品級を授け靈父を立てる所です、

婚姻

人間の多くの務めの中に一番重い苦みな守り兼ねる務めは婚姻です、依て夫婦になる信者を助ける爲にイエズス、キリストは婚姻を秘蹟になされたのです、婚姻の秘蹟は總て夫婦相互の務、即愛し合ひ、足らぬ所を堪へ、子供を育てたり、養けたりなすすることを能く守らせる爲に天主の御力御恵を與へるものです、サウして何の譯でも生涯離縁することは禁じてある、然し一



第 五 十 四 圖



イ、ス、カ、の婚姻に與り給ふ

方が死んだときは又た婚姻することを許されます、第  
 五十四圖はイエズス、が猶太國に巡回し始めるときカナ  
 といふ町に懇意な人の婚姻に招かれて行つたところで、  
 斯く御自分で婚姻に與つたのは人間の夫婦になること  
 をお聖びなされたのです、  
 吾々が天國に往つて云はれぬほごな深い幸樂を天主か  
 ら受けるには前に舉げた總てのこと、即第一使徒信經  
 の個條を堅く信じ、第二天主の十誠と聖會の六誠を能  
 く守り、第三秘蹟を領け祈禱と熱心な勤を守ることが  
 せねばならぬ、是等を一生の間力を落さずして守るこ  
 とは随分六ヶ敷、難儀であるが、然し之を肅んで守れ



は先此世に於ては心が安全になつて始終樂を覺え、又  
後の世に於ては諸の天使や聖人方の中に入つて終りな  
く天主の御傍に居て此世の幸や樂とは迎も比べられぬ  
深い幸樂が受けられるから皆さんは如何なる碍、如何  
なる耻辱、如何なる迫害、如何なる難儀があつても恐  
れず撓まずお守りなさい、實に聖ポールのいふ通り死  
ぬ時は目の前に近いて居る、此世は夢の間に通り過ぎ  
ぬばならぬ、僅の間の行に由て或は天國の幸となり、  
或は地獄の苦となるのです、短い此世の心配で終りな  
き天國に往つたならば如何ばかり悦びなことではあり  
ませんか、

○公教圖解終



明治三十三年十二月十日印刷  
明治三十三年十二月十六日發行



發行兼  
著作者

ドルワルド、レゼイ

甲府市若松町二百八十二番戸

發行所

東京市神田區錦町一丁目十番地

三才社

印刷者

東京市神田區錦町一丁目十番地

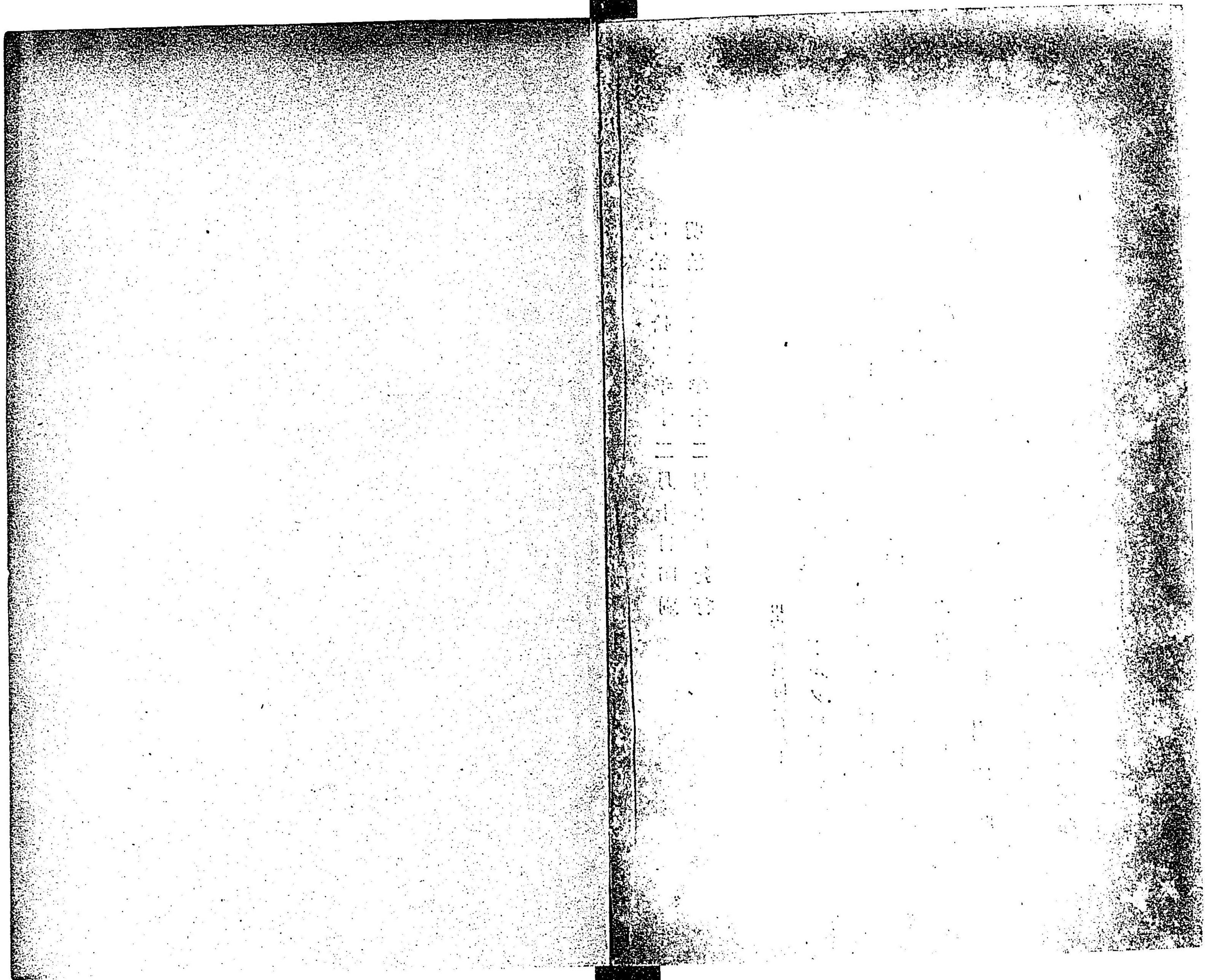
堀川柳助

印刷所

東京京橋區築地二丁目廿一番地

國光社印刷部

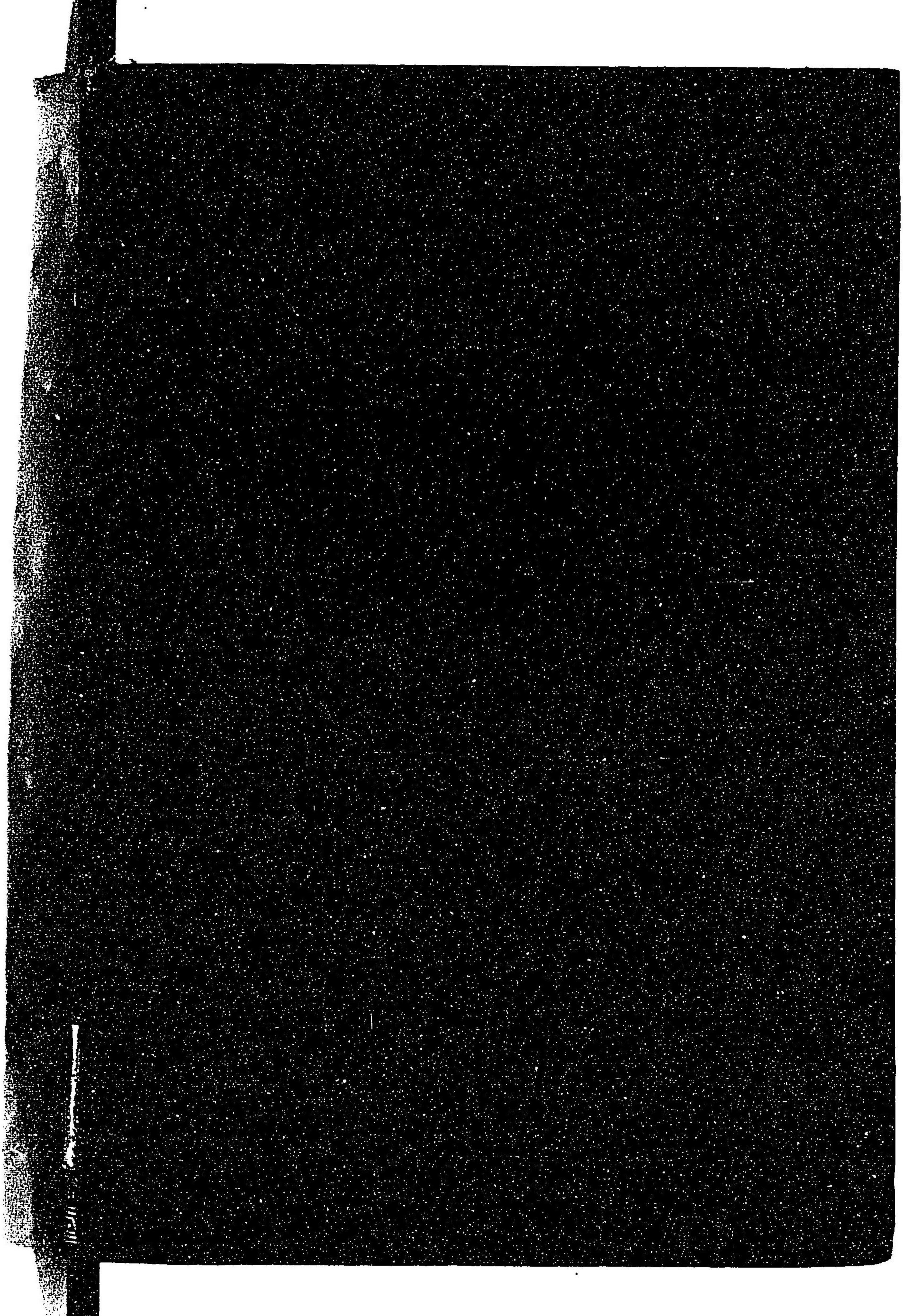






87
148









020624-000-4

87-148

公教図解

ドルワル・ド・レゼーノ著

M33

ABI-0440

